



MY *First* Asset Management

—いちばんにうかぶ顔に—

明治安田アセットマネジメント

最良のパートナーとして、 お客さまとともに歩みつづける。

資産運用について考える人、知りたい人が、増えています。
企業の経営においては、持続可能な社会への貢献という視点が求められています。

日本の資産運用会社として、お客さまの資産運用のパートナーとなり、
生き生きとした社会の基盤づくりに貢献する。それが、私たちの果たすべき役割。
お客さまに良質の商品・サービスをお届けし、
どんなときもいちばんに思いうかぶ顔になる。それが、私たちの願い。

MY First Asset Management

みなさまのいちばんにうかぶ顔に——。

私たちは MYAM (マイアム)。明治安田アセットマネジメントです。



トップメッセージ

私たち明治安田アセットマネジメント<MYAM>は、
発足以来、明治安田生命グループの中核の資産運用
会社として、お客さまに満足いただけるクオリティの
高い資産運用サービス・商品を提供することに努め
てまいりました。

NISA制度の拡充・恒久化等を背景に「貯蓄から投資へ」の流れが本格化しつつある昨今、お客さまが
資産運用会社に求める専門性、透明性の水準はこれ
まで以上に高まっています。また、環境、経済、社会
において国際社会が協力して解決すべき課題が
数多く顕在化しており、サステナブルな社会を未来
に手渡すための責任ある行動が求められています。
私たちは資産運用会社が果たすべき公共的使命・
社会的責務をよりいっそう自覚し、ご提供する運用
商品の収益率がお客さまのご期待にそえているの
か、適切な情報提供がなされているのかなど、これ
まで以上に様々な視点で確認してまいります。
社員一人一人が資産運用のプロフェッショナルとし
て、お客さまの中長期的な資産形成のために最善の
努力を尽くすことで、「お客さまに最も信頼され、満足
いただける資産運用会社」をめざしてまいります。
引き続きいっそうのご支援・ご愛顧を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

中谷 友行

Tomoyuki NAKATANI

運用経験年数36年。大手損害保険会社、外資系証券会社等を経て、1999年当社入社以降、一貫して当社資産運用業務に従事。
2006年債券運用部長、2016年執行役員兼投信企画部長、
2017年執行役員、2018年常務執行役員、2020年専務執行役員、
2024年代表取締役社長



MYAMの運用

明確で一貫性のある運用プロセスと
それを実現するチームアプローチ



クオリティの高い
運用の継続をめざして。

執行役員／運用本部長

菅 康弘

Yasuhiro SUGA

CAREER

運用経験年数28年。明治生命保険(現明治安田生命保険)、外資系運用会社を経て、2006年当社入社。当社国内債券運用の中心的役割を担い続け、2016年債券運用部長、2020年執行役員兼債券運用部長、2023年執行役員、2024年執行役員運用本部長



当社は、アクティブ運用を標榜する資産運用会社です。マーケットに存在するさまざまな非効率性に注目し、リターンの源泉として活用するクオリティの高い運用を継続することをめざし、リサーチを重視した一貫性のあるプロセスで運用を行なっています。

運用環境は加速度的な変化を遂げつつあり、正確な情報収集・動向分析に基づく判断、中長期的視点に立った組織的取組みの重要性がますます高まっています。そのために、人財への投資を継続するとともに、迅速な情報・データ収集およびそれらを分析するITの活用を積極化し、投資リターンの獲得をめざしてまいります。

ESG投資の分野では、資産運用会社がインベストメント・チェーンのなかで果たすべき使命を深く認識し、中長期的な視点から投資先企業の企業価値向上を図るべくエンゲージメント活動を行なっています。お客さまの大切な資産の中長期的な成長のため、これからも尽力してまいります。

責任ある機関投資家としての取組み

■ インベストメント・チェーンの一員として持続可能な社会の形成に貢献する

当社は、経営理念において「インベストメント・チェーンの一員として持続可能な社会の形成に貢献」することを掲げています。

この理念のもと、当社は「責任ある機関投資家の諸原則(日本版スチュワードシップ・コード)」の精神に賛同し、同コードの受入れを表明しています。





当社では、適切にスチュワードシップ責任を果たすため、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解と、運用戦略に応じたサステナビリティの考慮に基づき、「目的を持った対話」(エンゲージメント)や議決権行使を行なっています。

こうした取組みが投資対象企業の企業価値向上や持続的成長を促し、当社にとっての「お客さま・受益者」の中長期的な投資リターン拡大に結びつくとともに、経営理念に掲げる「持続可能な社会の形成」にも貢献するとの認識を持って、スチュワードシップ活動を積極的に実施しています。

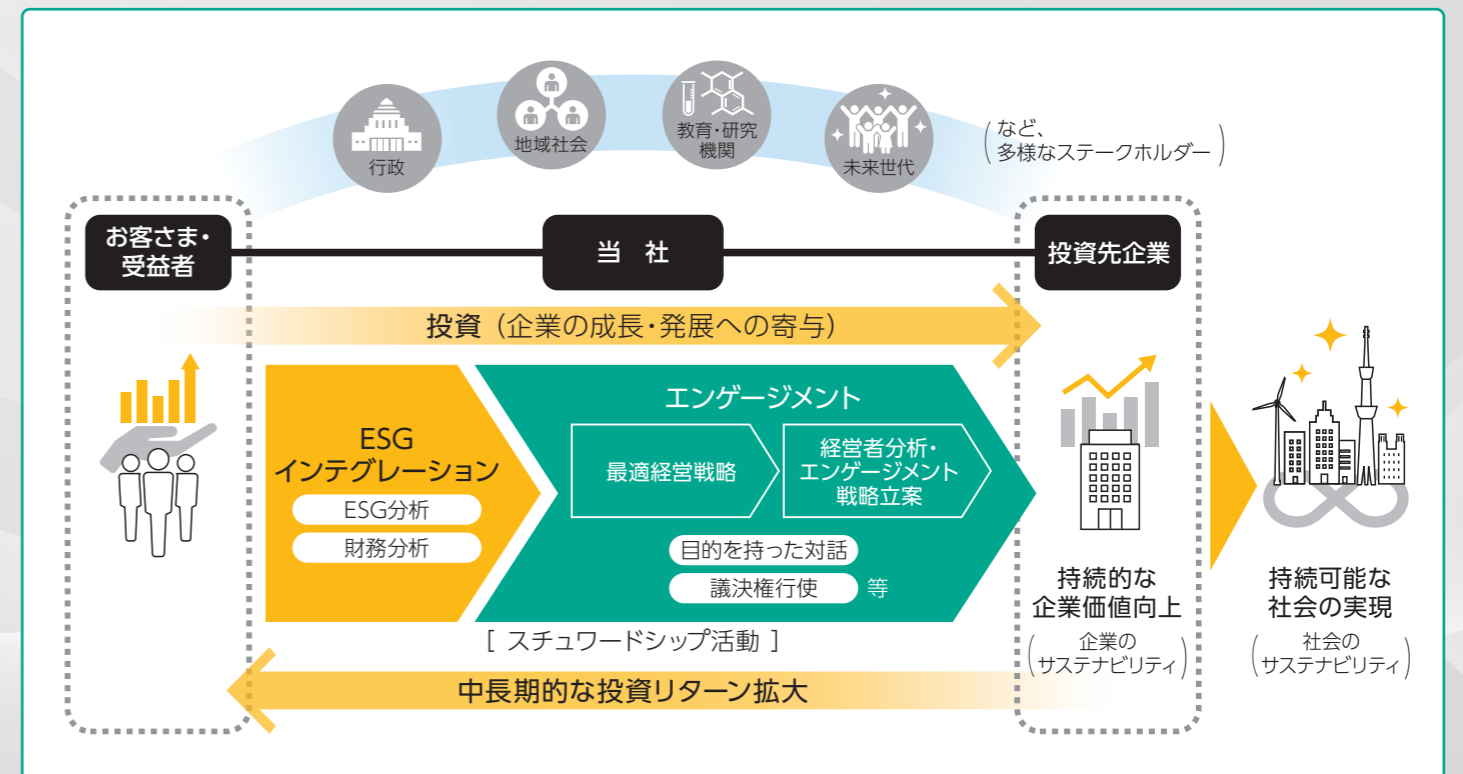
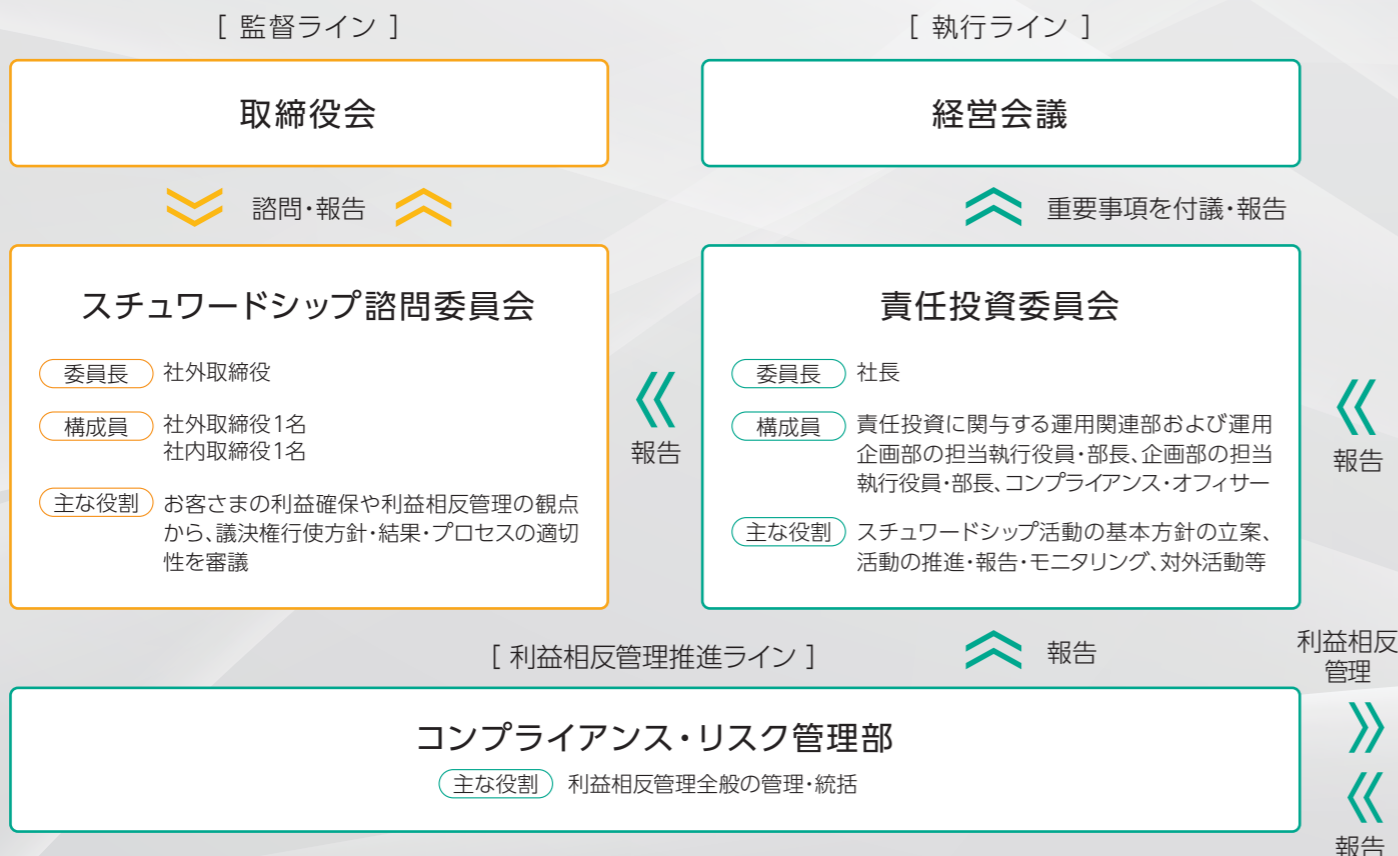
■ スチュワードシップ活動の透明性、実効性を確保するために

- 利益相反管理** 当社は、受託者責任を果たすため、お客さまの利益を第一に行動します。お客さまの利益と、当社およびグループ会社またはほかのお客さまとの間の利益相反について、議決権行使を含む取引の種類・管理等を明確化した社内規程を定め、適切なコンプライアンス態勢のもと管理を行ないます。
- 情報開示** スチュワードシップ責任を果たすための方針をホームページに公表するほか、その取組状況(取組結果)について、毎年、社内において報告を行なうとともに、ホームページにもその概況を掲載し、広くお客さまに開示を行ないます。
[＜ホームページ＞ https://www.myam.co.jp/about/stewardship.html](https://www.myam.co.jp/about/stewardship.html)
- 実力養成** 国連責任投資原則活動への参加など、ほかの投資家や専門的知見を有する方々との意見交換等を通じて、スチュワードシップ活動のよりいっそうの研鑽および効果的な運用に努めます。

■ イニシアティブへの参画

国連責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment) : 2016年3月署名 	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) : 2019年12月賛同表明 
持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則 (21世紀金融行動原則) : 2016年3月署名 	協働対話フォーラム : 2020年2月参加 一般社団法人 機関投資家協働対話フォーラム Institutional Investors Collective Engagement Forum 
The Net Zero Asset Managers initiative (NZAM) : 2023年1月加盟	

■ 当社の推進体制



中長期的に良好で持続可能な運用成果を実現していくために

調査・運用プロセスにおけるESG (環境・社会・ガバナンス)

資産運用会社としての社会的責務を果たしていくため、投資先企業の財務的要素に加えて、投資先企業のサステナビリティ (持続可能性) にとって重要と考えられる非財務情報であるESGについても、適切に考慮した投資を推進してまいります。



社会的価値、経済的価値の同時実現による持続可能な企業価値向上により、
運用資産の最大化をめざします

エンゲージメントの実行

議決権行使 … エンゲージメントにおける最も効果的、かつ重要な手段の一つとして活用

■ 基本的な考え方

- ▶ 議決権行使はエンゲージメント活動のなかで最も効果的かつ重要な手段
- ▶ コーポレートガバナンス・コードの改訂内容等を、社内 ESG格付のG(ガバナンス)評価基準に反映するほか、一部の重要課題は議決権行使ガイドラインにも反映
- ▶ ESG課題を持つ企業について、エンゲージメントによる改善が見込まれないと判断した場合には、会社側提案に反対行使

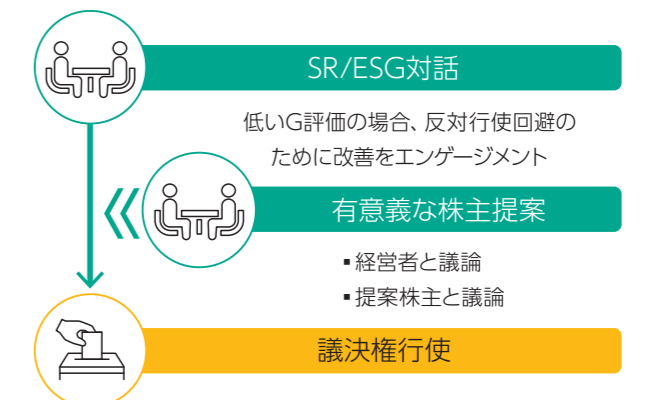
■ 行使方針*1

- ▶ 原則、当社の議決権行使ガイドラインに沿って議決権行使を実施
- ▶ ただし、当該企業の状況等を踏まえ、ガイドラインと異なる判断が適切と考えられる場合は別途協議を行ない、ガイドライン以外の内容で議決権行使

■ 最近のガイドライン改定事例

項目	内容	賛否対象
女性取締役の選任	女性取締役が1名以上選任されていない場合	代表取締役の再任に「反対」
環境・社会・人権等の課題への取組み	環境・社会・人権等に関する重要な課題があり、株主価値を毀損すると判断される場合	代表取締役の再任に「反対」
株主提案：定款の一部変更等	環境・社会・人権等の課題への取組みにより中長期的な企業価値向上に資すると判断される場合	株主提案に「賛成」

■ 議決権行使のフロー



*1 当社では議決権助言会社である Institutional Shareholder Services の助言サービスを活用していますが、賛否判断および行使の意思決定は、投資先企業の企業価値向上・拡大に資する観点を踏まえ、当社が行ないます。また議決権助言会社とは毎年意見交換を行なっています。

General Manager Message

責任投資は、お預かりしたお客さまの資金の投資を通じ、企業と資本市場をつなぐ金融機能としての重要な役割を担っています。

今日、サステナブル投資の広がりや、資産運用におけるグローバルかつ中長期的な視点の重要性をさらに高めることになりました。運用会社にとって大きなチャレンジですが、同時にこれはファンダメンタルズを重視する当社にとって、原点回帰とも言えます。社会課題は多岐にわたり、解決への道のりは、決して平坦ではありません。当社では、各分野の経験豊富なプロフェッショナルが、組織の枠を超えて協働しつつ、対話を通じ、企業との情報および認識の共有を進めることで、専門分野の知見をさらに高めてまいります。同時に、多くの情報から本質を見極め、課題の絞り込みを行なう等、効果的で真にサステナブルな取組みをめざします。

今後も、受託者責任を果たしながら、持続可能な社会の実現に向け、邁進します。



運用副本部長 兼
株式運用部長 兼 責任投資部長

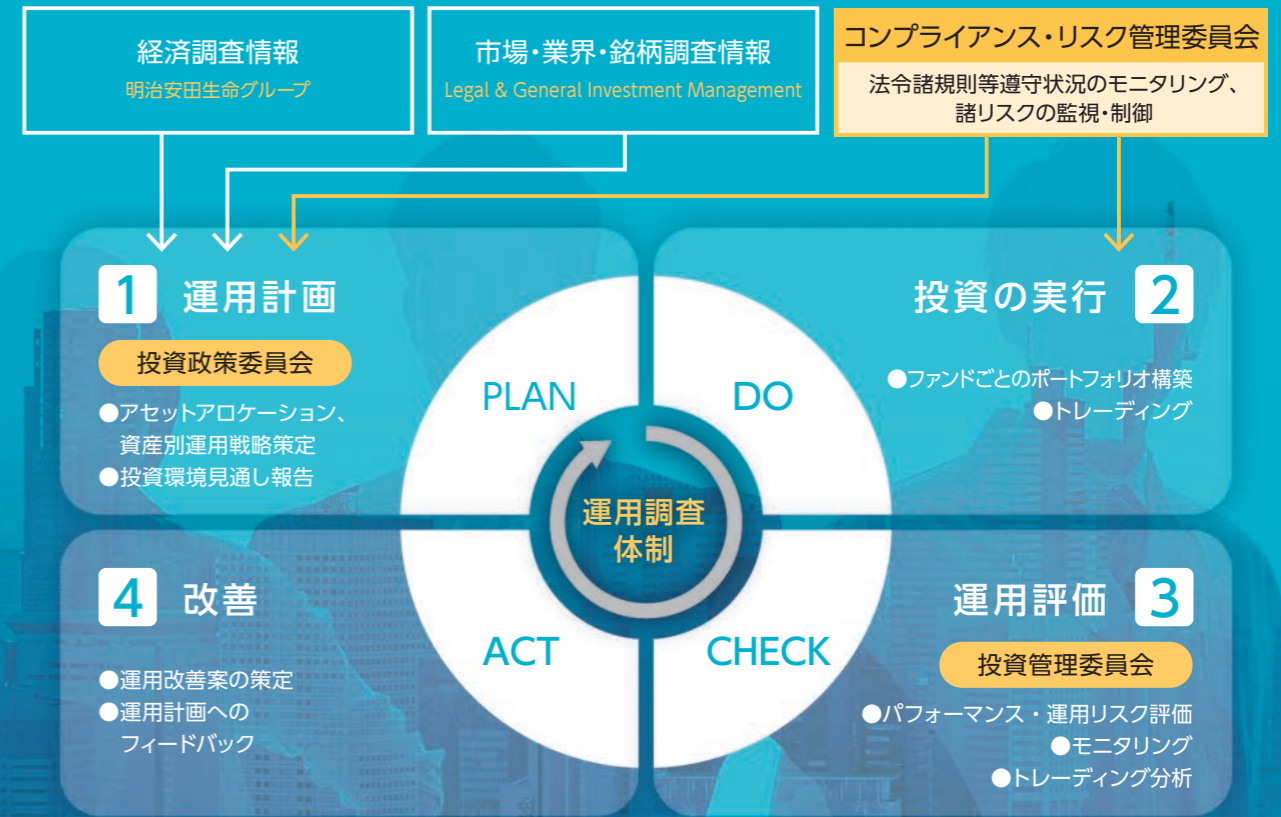
鐘ヶ江 弘伸
Hironobu KANEGAE

運用哲学

資産の価値は中長期的にはファンダメンタルズ要因に基づき決定されるとの考えのもと、マーケットの非効率性を捉えた超過収益の獲得は可能と考えます。

クオリティの高い調査・分析に基づいたアクティブ運用を中心として、各アセットクラスおよび運用スタイルでそれぞれの特性を活かした運用を行ない、付加価値の創造をめざします。

チームアプローチによる明確で一貫性のある運用プロセスと、厳格なリスクコントロールを通じて、高品質で安定性の高い運用サービスの提供を行ないます。



社員一人ひとりが資産運用のプロフェッショナルとして、お客さまの中長期的な資産成長のために最善の努力を尽くす



運用副本部長 兼 株式運用部長 兼 責任投資部長
鐘ヶ江 弘伸
Hironobu KANEGAE

目標は、ファンダメンタルズ分析に基づくアクティブ運用による超過収益の獲得です。ボトムアップ・リサーチを付加価値の源泉とし、優れた経営戦略に基づいた中長期視点での高い成長力や継続性に対して割安な銘柄の発掘に努めるとともに、適切なリスクコントロールのもと、効率的かつ安定的な超過収益の獲得を追求してまいります。



債券運用部長
萩田 浩之
Hiroyuki HAGITA

ファンダメンタルズに基づく債券市場の長期的なトレンドと需給等により短期的に生じる市場の歪みに着目し、超過収益の獲得を追求するアクティブ運用を中心に取り組んでいます。リサーチを重視した一貫性のある運用プロセスのもと、投資機会の分散、予測精度の向上等を通じた効率的なリターン/リスクを追求してまいります。



グローバル株式運用部長
河上 康弘
Yasuhiro KAWAKAMI

北米、欧州、アジアの株式市場に上場する銘柄の中から、ファンダメンタルズ分析に基づき、潜在的に高い成長分野、差別化された商品・サービスを持つ質の高い成長株への投資を行なうアクティブ運用を行なっています。超過収益獲得のためには、銘柄や業種に関する地道なリサーチと市場動向の的確な把握が重要であると考えます。



グローバル債券運用部長
藤田 隆二郎
Ryujiro FUJITA

経済ファンダメンタルズと市場分析を重視したアクティブ運用を中心に取り組んでいます。多様な運用プロフェッショナルの知見を活かし、綿密なリサーチによって確立された一貫性のある運用プロセスのもと、外国債券投資におけるさまざまな収益機会を発掘します。このような姿勢は昨今の不確実な環境下で特に有益であると考えています。



クオンツ運用部長
藤原 崇臣
Takaomi FUJIWARA

確率、統計や金融工学などの数学的手法を活用したマーケット分析の知見をもとに運用モデルを開発します。日本株式・外国株式が中心ですが、投資対象を限定することなくマルチアセットの新たな運用手法の開発を目的とし、幅広いリサーチに積極的に取り組んでいます。精緻かつ大胆に、そして再現性の高さを心掛けています。



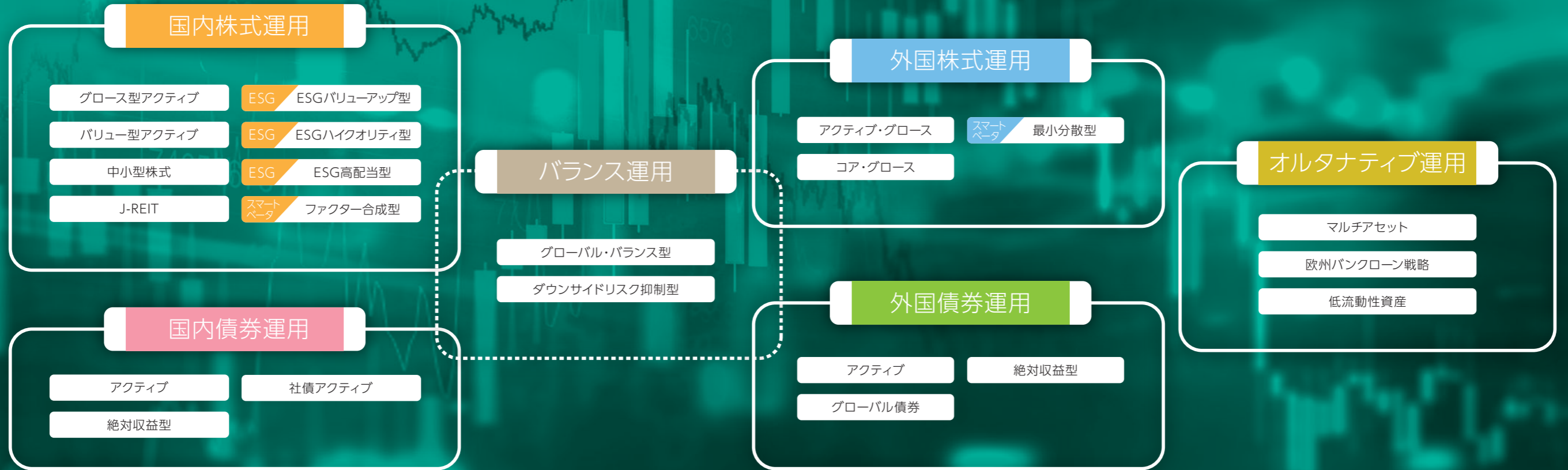
ポートフォリオ・マネジメント部長
佐藤 直輝
Naoki SATO

複雑化する運用環境のなか、マーケットの状況と変化の兆しを的確に把握して確信度の高い運用戦略を策定するために、各運用部との密接な情報連携を踏まえて各自が考え抜き、深度ある議論を重ねることが重要と考えています。お客さまに安定した超過収益をお届けできるアセットアロケーション決定のため、より専門性を高めてまいります。

年金のお客さま向けの代表的な商品ラインナップ

年金向け標準商品

》》 高度化・多様化する運用ニーズに対応するため幅広い商品ラインナップをご用意し、お客さまとの対話を通じて最良のご提案をいたします。



お客さまの利益を最優先にベストエフォートを尽くす

対話重視の姿勢から生まれる最良の提案

お客さまの運用方針を十分に理解するために当社営業担当一人ひとりが大切にしていること、それはお客さまとの「対話」です。専門性と豊富な経験を持つ営業担当が、徹底的な対話を通じてお客さまの目標とする投資成果やお客さまが抱える財政上の課題などを総合的に判断し、解決へ向け最良の提案を実施します。

お客さまのご期待に応える商品ラインナップ

市場環境が刻々と変化する時代に、お客さまが目標とする投資成果の安定的かつ長期的な確保は難しくなっています。このような状況下においてもお客さまの高度化・多様化する運用ニーズに対応するため、当社では安定運用から収益追求まで幅広い商品をご用意しています。お客さまにふさわしい商品をさまざまな組み合わせでご提示することが可能です。

新しいαの追求

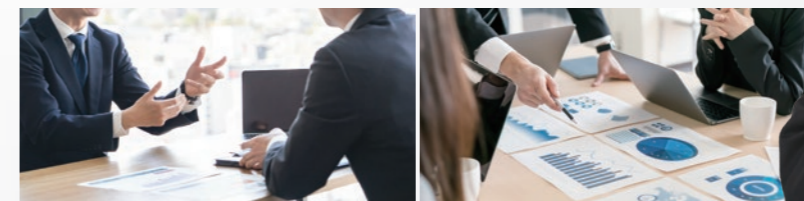
「これまでにない価値をお届けする」ことも私たち資産運用会社の使命です。例えば、近年社会的な関心を集める「ESG」を企業の持続的成長と結びつけ、投資判断の基準として用いるESGファンドにも力を入れています。「新しいα」の追求に全力を尽くし、お客さまへの良好な投資機会のご提供とお客さまの資産運用に貢献するために挑戦を続けてまいります。

Chief Executive Message

最も信頼されるアドバイザーをめざして

法人本部は、年金基金や金融法人をはじめとする機関投資家のお客さまに、多様な運用商品とサービスを提供しております。私たち資産運用会社の使命は、お客さまとその先の従業員や預金者のみなさまの大切な資産を安定的かつ長期的に増やしていくこと。そのために、私たちは常に最も信頼されるアドバイザーをめざし、お客さまの声を聴き、考えを巡らせ、お客さまの利益を最優先にベストエフォートを尽くします。

執行役員 法人本部長 **岡田 洋太郎**
Yotaro OKADA



お客さまの想いをともに叶えるために

》》 お客さまの大切な想いを託された私たちは、新しい価値を創造すべく日々果敢に挑戦し、最善の 努力を尽くしお客さまの中長期的な資産形成に貢献いたします。

■ 私たちの投資信託商品がお客さまに届くまで (イメージ図)



お客さまの想いを叶えるための3つのC

C 創造
Creation

私たちは、お客さまの想いを形にするために、新しい価値の創造へ果敢に挑戦します。

役職員一人ひとりが、資産運用のプロフェッショナルとして、お客さまのニーズや課題を理解しソリューションを提供いたします。

C 対話
Communication

私たちは、お客さまの想いに耳を傾け尊重し、私たちの想いもしっかりお伝えし行動します。

役職員一人ひとりが、お客さまの大切な想いを受けとめ、その想いの実現に向けてともに考え、より多くのお客さまにご満足いただけるサービスをお届けいたします。

C 責任
Commitment

私たちは、お客さまの想いに責任を持って関わり、ともに成長します。

役職員一人ひとりが、資産運用会社が果たすべき公共的使命・社会的責任をよりいっそう自覚し、お客さまにふさわしい商品・サービスの提供などお客さま本位の業務運営に関する取組みを進めてまいります。

Chief Executive Message

お客さまに最も信頼され、満足いただくために

リテール本部では、お客さまに寄り添い、お客さまのニーズや課題に耳を傾け、仮説を立てソリューションの提供に努めてまいります。また、販売会社のみならず、働く仲間と協働し、タイムリーにわかりやすい情報の提供を行ないます。『お客さまに最も信頼され、満足いただける資産運用会社』、それが私どもの願いです。

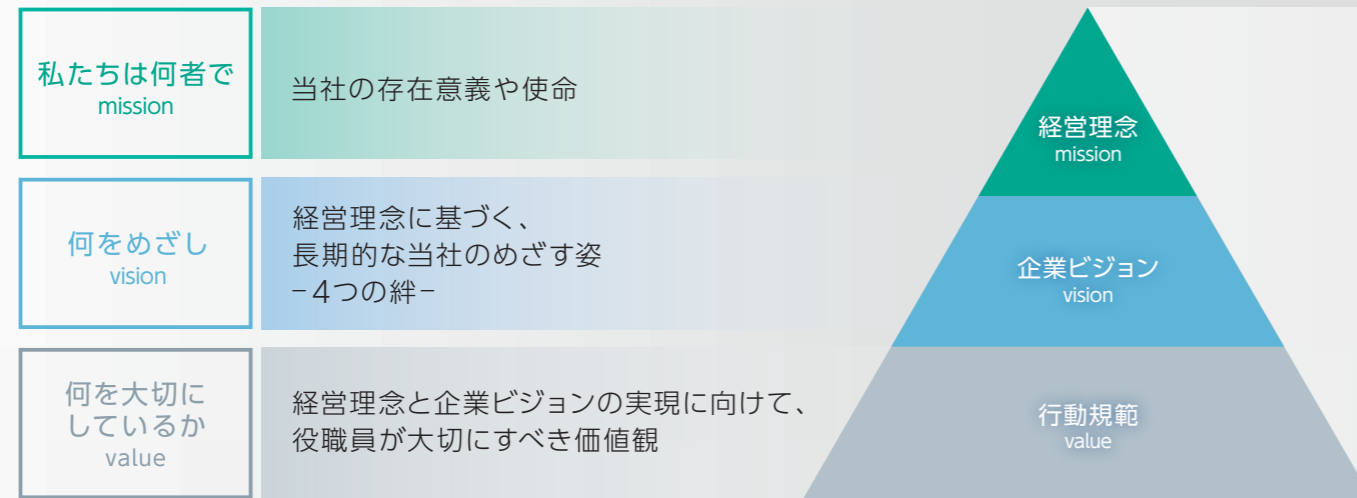
執行役員 リテール本部長 竹内 敦子

Atsuko TAKEUCHI



私たち MYAM の企業理念構成

》》 当社は経営理念、企業ビジョン、行動規範を定め、企業活動を展開しています。



経営理念

私たちは、お客さまに最も信頼され、満足いただける資産運用会社をめざすとともに、インベストメント・チェーンの一員として持続可能な社会の形成に貢献します。

企業ビジョン

〈お客さまとの絆〉

資産運用のプロフェッショナルとして、クオリティの高い資産運用サービス・商品を提供します。

〈社会との絆〉

コンプライアンス・リスク管理を徹底し、資産運用会社としての公共的使命・社会的責務を果たすことにより、社会とともに発展する企業をめざします。

4つの絆

〈未来世代との絆〉

未来の世代を想い、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに貢献します。

〈働く仲間との絆〉

挑戦意欲や多様性を尊重し、役職員が意欲的に能力を発揮できる良好な職場環境づくりに努めます。

行動規範



私たちは、高い倫理観と高度な専門性のもと、お客さまの利益を最優先に考え、行動します。

私たちは、果敢に挑戦し、新しい価値を創造します。

私たちは、働く仲間と互いに助け合い、共に成長します。

働く仲間との絆

》》 挑戦意欲や多様性を尊重し、役職員が意欲的に能力を発揮できる良好な職場環境づくりに 努めます。



株式運用部
ポートフォリオ・マネジャー
森 さん

未経験の分野でも、知的好奇心があれば たくさんの方のことを学べる

私は新卒で入社後に事務管理部に配属されました。まったく未経験の分野でしたが、メンターや周囲の人々に助けられながら投資信託に関する計理の知識やスキルを身につけることができました。

3年目に株式運用部に配属されてからも、周囲のポートフォリオ・マネジャーやアナリストたちに刺激を受けながら、担当分野の専門知識だけでなく、より幅の広い投資の着眼点を学ぶことができています。現在はポートフォリオ・マネジャーとしてREITを担当していますが、定量面だけでなく定性面も重要であることから、担当企業との面談などの調査を行なったうえで、チームでの投資判断の議論に参画しています。

MYAMIは知的好奇心があればたくさんの方のことを学べる職場です。



債券運用部
クレジット調査グループ アソシエイト
渡辺 さん

若手でも裁量と責任を持って働くことができ、 成長の機会が多い

最初に配属された総務部では施設管理や労務管理などを担当、幅広い職務のなかでチームの仲間と連携し、会社の運営に不可欠な業務に携わりました。

3年目に債券運用部クレジット調査グループへ配属され、現在はクレジットアナリストとして企業の信用力分析・投資価値評価を行なっています。配属当初はわからないことも多かったですが、当社にはメンター制度があり、先輩の後ろで調査活動をみながら着眼点を学んでいきました。4年目からは担当の業種が広がり、未知の業界について学びながら、学んだ分析手法をもとに企業の信用力の分析を行なっています。

若手でも裁量と責任を持って働くことができ、多くの成長の機会があることがMYAMIの魅力の一つだと思います。



人財開発部長
小倉 理美
Rimi OGURA

働く仲間と互いに助け合い、ともに成長できる 職場環境づくり

当社では、社員一人ひとりが職務経験を通じ専門性の研鑽に努め、プロフェッショナルとして「互いに助け合い、ともに成長する」職場環境づくりを推進しています。特に若手社員には部門横断的に業務を学ぶ機会を提供し、会社全体で後進を育成することで協働の大切さを浸透させています。

また、多様性こそが組織が発展・継続していく強みであると認識し、さまざまなバックボーンを持つ社員一人ひとりが自分らしく活躍できるように、キャリア教育や社内キャリアコンサルタントによる面談を実施しています。自ら果たすべき役割と望むライフスタイルを認識し、「ライフも含めたキャリアプラン」を主体的に描くことが多様性の受容へとつながり、そして「互いに助け合い、ともに成長する」職場環境へつながると考えています。

今後も会社の持続的成長に向けた人財開発の取組みを推進してまいります。

明治安田アセットマネジメント公式サイトでは
より詳しい当社の取組みや情報・データ等を掲載しています。

明治安田アセット

<https://www.myam.co.jp/>



